

居場所づくりのABC 第1講 REPORT



講師: 杉崎 和久さん

法政大学法学部政治学科/大学院公共政策研究科
専門: 都市計画(地域まちづくり、市民参加)

話題提供の内容

- ・自己紹介
- ・まちの「居場所」に期待する動き
- ・ヨコハマ市民まち普請事業について
- ・まちの拠点に関する研究から
- ・私にとってもまちの居場所づくりとは

受講生の感想(抜粋)

- 杉崎先生のお話を聞いて、居場所づくりに向けてとても参考になりました。講座に出席されている方と6回を通じて交流できるのを楽しみにしています。まずはこの講座が私の居場所になりそうな気がしました。
- 街づくりの視点で居場所づくりを考えると・・・という視点に立って考えることがあまりなかったので楽しく拝聴できました。普段は居場所づくりを「仲間づくりの場」として、仕事で取り組んでいるので新しい発見でした。でも、行きつくところは「居心地の良さ」というところのが面白かった。

まちの居場所が生み出す価値

- ・小さな空間からはじまる活動によるまちの魅力向上
 - ・生業を含む暮らしとまちへの関わりが一体となっている人の存在(意思を持った空間)
 - ・まちのあるべき姿を構想した活動
 - ・地域内のつながりを生み出す
 - 空間と活動を結びつける活動
- ・地域のプラットフォームとしての課題解決力向上
 - ・対話を通じた地域資源を持った多様な人たちによる課題解決
→ 空間を活かす人、地域資源をつなぐ人の存在
- ・多様な居心地の良い空間の存在(多様な選択肢)
 - ・安心できる(居心地の良い)空間の多様さ
 - ・多様な居心地の良さを担保する運営(開き方、余白)
→ 市民運営による公共空間ならでは

わたしにとっての居場所づくりとは

- ・誰のための居場所づくりか



- ・私は居場所とどのように関わるか

居場所の多様性

店舗型

- ・カフェ
- ・コミュニティカフェ・スペースなど

非店舗型

- ・座談会・集い形式(認知症カフェ、交流会など)

パブリックスペース型

- ・子ども食堂
- ・自治会館サロン

居場所づくりの正解は一つではない

- ・自分なりの居場所を見つける
- ・見学先はヒントのひとつ
- ・「形」よりも大事なことがある
- ・多様な居場所のあり方
- ・完成形を真似する必要はない
- ・居場所を機能で考えてみる
- 「あなた流」の居場所づくり

今日担い手としての第一歩を踏み出す

- ・あなたが地域の種になる
- ・居場所の担い手は市民一人ひとり
- ・形は自由、多様でよい
- ・小さな一步が地域を変える
- ・仲間と共に育っていくことが大切

第1講の学びを胸に、
第2講は、緑区で初めてできたコミュニティカフェ「ぷらっとキリカフェ」訪ねます。
次回はその報告をいたします！